

11 月の植物

ヤマジノギク（キク科）

学名 : *Aster hispidus* Thunb. var. *hispidus*

ヤマジノギクは秋らしい好きな花である。写真は平戸で撮影した。佐賀県でも草原地帯で見ることができる。ヤマジノギクは自生環境の中で多様化し命名されている。ヤマジノギクグループで草原地帯に自生するヤマジノギク。火砕岩の岩上に自生するブゼンノギク、海岸の砂浜、瓦礫地帯に自生するハマベノギク。海岸の岩場に自生するソネレノギクに分類されている。ヤマジノギクグループは熊本大学・副島顕子教授により研究が行われた。私も材料集めの協力（佐賀、熊本、長崎県）を行った。DNA 解析を含め明らかになったこととして、ブゼンノギクはヤマジノギクとは遺伝的には区別が出来なかった。ハマベノギクの砂浜型と瓦礫地に自生する個体は異なる。山口県以南の日本海側に分布する個体は牧野富太郎先生の命名の産地不明のイソカンギクであることが分かった。ハマベノギクは鳥取県以北の海岸砂場に自生する個体。海岸の岩場に自生するソナレノギクも遺伝的にも確立し佐賀県では加唐島に分布する。（文責 井上康彦）

